千葉市新清掃工場建設及び運営事業

提出書類の作成要領

平成30年4月

千葉市
《目　次》
1 入札参加・辞退に係る提出書類 ................................. 1
2 入札参加資格審査申請書【正本１部・副本４部】 ....................... 1
3 現地見学会に係る提出書類 ........................................... 1
4 対面での対話に係る提出資料 ......................................... 2
5 入札書【正本１部】 .................................................. 2
   (1) 記載要領 ........................................................... 2
   (2) 封入要領 ........................................................... 2
6 事業提案書に係る提出書類【正本１部・副本１２部】 ....................... 2
1 入札参加・辞退に係る提出書類

・提出期限及び提出方法等については、「入札説明書」を参照すること。

<table>
<thead>
<tr>
<th>様式番号</th>
<th>書類名</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1-1</td>
<td>第1回入札説明書等に係る質問書</td>
<td>電子メールで提出すること</td>
</tr>
<tr>
<td>1-2</td>
<td>第2回入札説明書等に係る質問書</td>
<td>電子メールで提出すること</td>
</tr>
<tr>
<td>1-3</td>
<td>入札辞退届</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

2 入札参加資格審査申請書【正本1部・副本4部】

・A4縦長左縫じで片面印刷により提出すること。

・正本は様式2-1が表紙となるように様式2-2から様式2-8まで（添付資料を含む）を番号が若い順に一括して袋縫じにて作成し、代表企業の割印を施すこと。ページ数が複数になる様式については、様式番号に続けてページ番号を付すこと。《該当ページ番号／様式単位の総ページ数。（記載例：（様式2-1【1/2】）） |

・副本は正本の全書類の写しを任意のA4ファイルに一括して縫じ、提出すること。

<table>
<thead>
<tr>
<th>様式番号</th>
<th>書類名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2-1</td>
<td>入札参加資格審査申請書</td>
</tr>
<tr>
<td>2-2</td>
<td>構成員及び協力企業一覧表</td>
</tr>
<tr>
<td>2-3</td>
<td>予定する建設事業者の構成</td>
</tr>
<tr>
<td>2-4</td>
<td>委任状（代表企業）</td>
</tr>
<tr>
<td>2-5</td>
<td>本施設のプラントの設計・建設を行う者の要件確認書</td>
</tr>
<tr>
<td>2-6</td>
<td>本施設の建築物等の設計・建設を行う者の要件確認書</td>
</tr>
<tr>
<td>2-7</td>
<td>旧清掃工場の解体撤去を行う者の要件確認書</td>
</tr>
<tr>
<td>2-8</td>
<td>運営事業者から本施設の運営・維持管理業務を受託する者の要件確認書</td>
</tr>
</tbody>
</table>

3 現地見学会に係る提出書類

・提出期限及び提出方法等については、「入札説明書」を参照すること。

<table>
<thead>
<tr>
<th>様式番号</th>
<th>書類名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>3-1</td>
<td>現地見学会への参加申込書</td>
</tr>
<tr>
<td>3-2</td>
<td>現地見学会に係る誓約書</td>
</tr>
</tbody>
</table>
４ 対面での対話に係る提出資料

・ 提出期限及び提出方法等については、「入札説明書」を参照すること。

<table>
<thead>
<tr>
<th>様式番号</th>
<th>書類名</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>4-1</td>
<td>対面での対話参加申込書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4-2</td>
<td>対面での対話における事前質問書</td>
<td>電子メールで提出すること</td>
</tr>
</tbody>
</table>

5 入札書【正本 1 部】

（1） 記載要領

・ 入札書の金額は、アラビア数字で正確に記入すること。
・ 入札書の頭数字の前に¥を記入すること。
・ 事業契約に規定する物価変動等に応じた改定は見込まれないこと。
・ 事業期間中に本市が民間事業者に支払う設計・建設業務費及び運営業務委託費を単純に合計した金額（現在価値換算前の実額ベース）とすること。
・ 入札金額の内訳について、任意の書式で後日提出すること。

<table>
<thead>
<tr>
<th>様式番号</th>
<th>書類名</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>5-1</td>
<td>入札書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5-2</td>
<td>委任状</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（2） 封入要領

・ 入札書（様式 5-1）は、別紙 1 を参考に封筒に入れて提出すること。

※ 本市が落札者を決定した後、当該落札者は、本市が提示する期限までに、本市が指示する内容により入札金額の内訳書を提出すること。

6 事業提案書に係る提出書類【正本 1 部・副本 12 部】

<table>
<thead>
<tr>
<th>様式番号</th>
<th>書類名</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>6-1</td>
<td>要求水準に係る誓約書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6-2</td>
<td>提出書類の整合確認書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6-3</td>
<td>技術提案書</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-1</td>
<td>入札価格内訳資料（運営業務委託費）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-2-1</td>
<td>事業収支計画（1）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-2-2</td>
<td>事業収支計画（2）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>様式番号</td>
<td>書 類 名</td>
<td>備 考</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>----------</td>
<td>-------</td>
</tr>
<tr>
<td>7-3</td>
<td>費用明細書（開業費）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-4</td>
<td>費用明細書（運転経費（運営固定費））</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-5</td>
<td>費用明細書（運転経費（運営変動費））</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-5 別紙</td>
<td>費用明細書（年間運転経費）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-6</td>
<td>費用明細書（維持管理費）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-6 別紙</td>
<td>保守管理及び修繕計画（1年目〜20年目）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-7</td>
<td>費用明細書（人件費）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-7 別紙</td>
<td>運営体制</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-8</td>
<td>費用明細書（その他経費）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7-9</td>
<td>S P Cの資本概要</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-1</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 処理対象ごみへの適合性</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 環境対策</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-2</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 処理対象ごみへの適合性</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 安全性</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-3</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) プラントの効率的なシステムと安定稼働</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 環境対策</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-4</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) プラントの効率的なシステムと安定稼働</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 環境対策</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-5</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) プラントの効率的なシステムと安定稼働</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3 環境対策</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-6</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) プラントの効率的なシステムと安定稼働</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3 環境対策</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-7</td>
<td>1 信頼性、安全性（安全で安定した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) プラントの効率的なシステムと安定稼働</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3 環境対策</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-8</td>
<td>2 資源・エネルギーの回収（循環型社会に適応した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 再資源化</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 再循環化</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-9</td>
<td>2 資源・エネルギーの回収（循環型社会に適応した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 高効率化</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 高エネルギーコンバージョン</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-10</td>
<td>2 資源・エネルギーの回収（循環型社会に適応した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 事前対応</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 最終処分量</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-11</td>
<td>2 資源・エネルギーの回収（循環型社会に適応した施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) 高効率化</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(4) 高エネルギーコンバージョン</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-12</td>
<td>3 建設工事計画の適切性</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 工事計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 工事管理計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8-13</td>
<td>3 建設工事計画の適切性</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 工事計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 工事管理計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>様式番号</td>
<td>書類名</td>
<td>備考</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>--------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>8-14</td>
<td>3 建設工事計画の適切性</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 工事計画</td>
<td>ウ 解体工事施工</td>
</tr>
<tr>
<td>8-15</td>
<td>4 環境保全性 （環境にやさしい施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 地球環境の保全</td>
<td>ア 二酸化炭素排出量</td>
</tr>
<tr>
<td>8-16</td>
<td>4 環境保全性 （環境にやさしい施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 地球環境の保全</td>
<td>イ 省資源・省エネルギーへの対応</td>
</tr>
<tr>
<td>8-17</td>
<td>5 防災性、災害時の対策 （災害に強い施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 非常時のリスクと対策</td>
<td>ア 非常時のプラント停止</td>
</tr>
<tr>
<td>8-18</td>
<td>5 防災性、災害時の対策 （災害に強い施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 非常時のリスクと対策</td>
<td>イ 停電時の自立再開</td>
</tr>
<tr>
<td>8-19</td>
<td>5 防災性、災害時の対策 （災害に強い施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 非常時のリスクと対策</td>
<td>ウ 災害時の管理体制</td>
</tr>
<tr>
<td>8-20</td>
<td>5 防災性、災害時の対策 （災害に強い施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 非常時のリスクと対策</td>
<td>エ 見学者等の緊急避難</td>
</tr>
<tr>
<td>8-21</td>
<td>6 啓発機能 （環境意識の充実を図った施設）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 展示・学習内容の充実</td>
<td>ア 展示・学習内容の充実</td>
</tr>
<tr>
<td>8-22</td>
<td>7 事業計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 全体計画</td>
<td>ア 事業実施体制</td>
</tr>
<tr>
<td>8-23</td>
<td>7 事業計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 維持管理計画</td>
<td>ア 保守管理・修繕計画（プラント）</td>
</tr>
<tr>
<td>8-24</td>
<td>7 事業計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 維持管理計画</td>
<td>イ 保全計画（建築物・外構・植栽）</td>
</tr>
<tr>
<td>8-25</td>
<td>7 事業計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) リスク管理</td>
<td>ア 財務の健全性</td>
</tr>
<tr>
<td>8-26</td>
<td>7 事業計画</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(3) リスク管理</td>
<td>イ 事故防止、保険</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 記載要領

1. 企業名を特定または類推できる記載を行わないこと。ただし、正本 1 部については、表紙及び表紙以外の各様式において企業名を明らかにすること。
2. 造語・略語を使用する場合には、一般用語・専門用語を用いて初出の箇所に定義を記述すること。
3. 他の様式に関連する事項が記載されているなど、参照が必要な場合には、該当する様式番号、ページ等を適宜記入すること。
4. 使用する用紙は、特に指定のない限り、A4 版・縦長・横書き・両面印刷（A3 版書類については A4 版に折込み片面印刷）とすること。
5. 提出書類の周囲は、縦じめ側は 20mm 以上の余白を設けること。ただし、様式番号、応募者番号及びページ番号については、この限りではない。
6. ページ数に制限ある場合には、遵守すること。ページ数が複数になる様式については、様式番号に続けてページ番号を付すこと。「該当ページ番号／様式単位の総ページ数」（記載例：（様式 8-2 別紙[1/6]）

---

イ 記載要領

① 企業名を特定または類推できる記載を行わないこと。ただし、正本 1 部については、表紙及び表紙以外の各様式において企業名を明らかにすること。
② 造語・略語を使用する場合には、一般用語・専門用語を用いて初出の箇所に定義を記述すること。
③ 他の様式に関連する事項が記載されているなど、参照が必要な場合には、該当する様式番号、ページ等を適宜記入すること。
④ 使用する用紙は、特に指定のない限り、A4 版・縦長・横書き・両面印刷（A3 版書類については A4 版に折込み片面印刷）とすること。
⑤ 提出書類の周囲は、縦じめ側は 20mm 以上の余白を設けること。ただし、様式番号、応募者番号及びページ番号については、この限りではない。
⑥ ページ数に制限がある場合には、遵守すること。ページ数が複数になる様式については、様式番号に続けてページ番号を付すこと。「該当ページ番号／様式単位の総ページ数」（記載例：（様式 8-2 別紙[1/6]）
⑦ 素材に使用するフォントは原則として明朝体（項目見出し等に用いるフォントについては明朝体以外のフォントでも良い）、10pt以上とする。図表や表の中の文字に関しては可能な限り8pt以上とすること。また、行間は読みやすさを考慮すること。なお、判読できない大きさの文字等が使用されている場合は失格とすることがある。
⑧ 用紙中央・最下段に通し番号を付すこと。[該当ページ番号／各審査書単位の総ページ数]。
⑨ 各書類の所定の欄に、本市から交付された応募者番号を記入すること。
⑩ 提出書類に記載内容を補助する目的の範囲内で簡易な図・表・写真を挿入して構わない。
⑪ 提出書類は記載内容を補助する目的の範囲内で着色を行っても構わない。
⑫ 事業提案書の内容の電子データを電子媒体（CD-R/DVD-R）にて提出すること。
　※ CD-R/DVD-Rについてはウイルス対策を実施した上で提出すること。

電子媒体作成要領
① 正本（1部）
　・電子媒体（CD-R/DVD-R）には、上段に「千葉市新清掃工場建設及び運営事業」、書類名称を、下段に応募者番号、提出日をそれぞれ明記して任意のケースに入れて提出すること。
別紙1：入札書封筒記載イメージ

入札書封筒記載例

（表）

入札書在中
千葉市長  熊谷 俊 人 様

事業名 千葉市新清掃工場建設及び運営事業

商号又は名称                  印
所在地________________________

代表者名____________________

平成 年 月 日

（裏）

・入札書を提出する封筒は長形3号を基本とすること。
・印については、代表企業の印を用いること。
千葉市新清掃工場建設及び運営事業に係る事業提案書

千葉市市長 熊谷俊人様

(代表企業)
商号又は名称
所在地
代表者名 印

平成30年4月19日付で公告された「千葉市新清掃工場建設及び運営事業」の事業提案書について、別添のとおり提出致します。
別紙3：副本の表紙及び背表紙イメージ

表紙（A4版）

千葉市新清掃工場建設及び運営事業

事業提案書

本市が交付する応募者番号

応募者番号：A